

No. 11

場 所	東中野三丁目(鉄道用地内)	樹 木 医	牧田英之、藤本洋介	診 断 日	2025 年 11 月 6 日
樹 木 番 号	25	樹高(H)=9.0m	幹周(C)=253 cm	枝張(W)=11.0m	
樹種名	サクラ	植 栽 形 態	☐ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☒ その他		支 柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

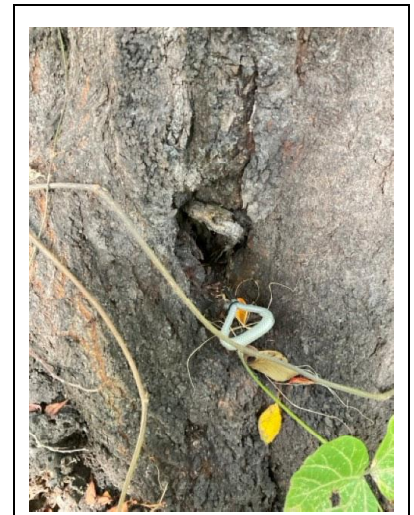
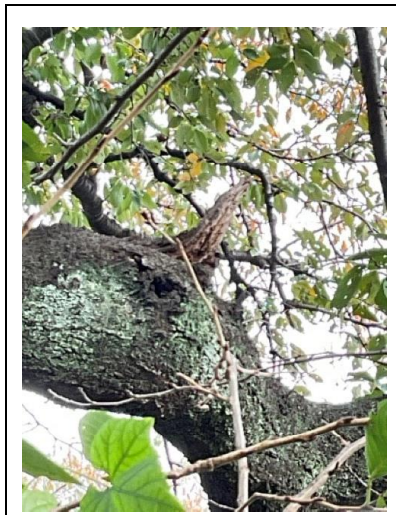
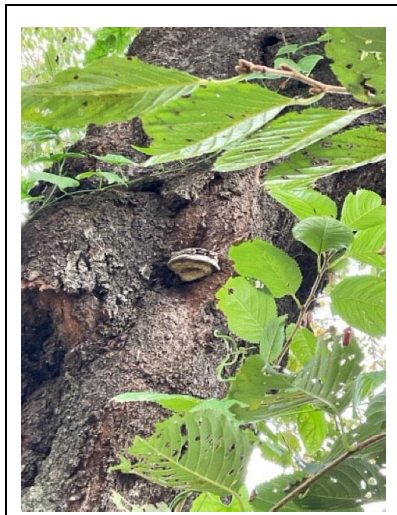
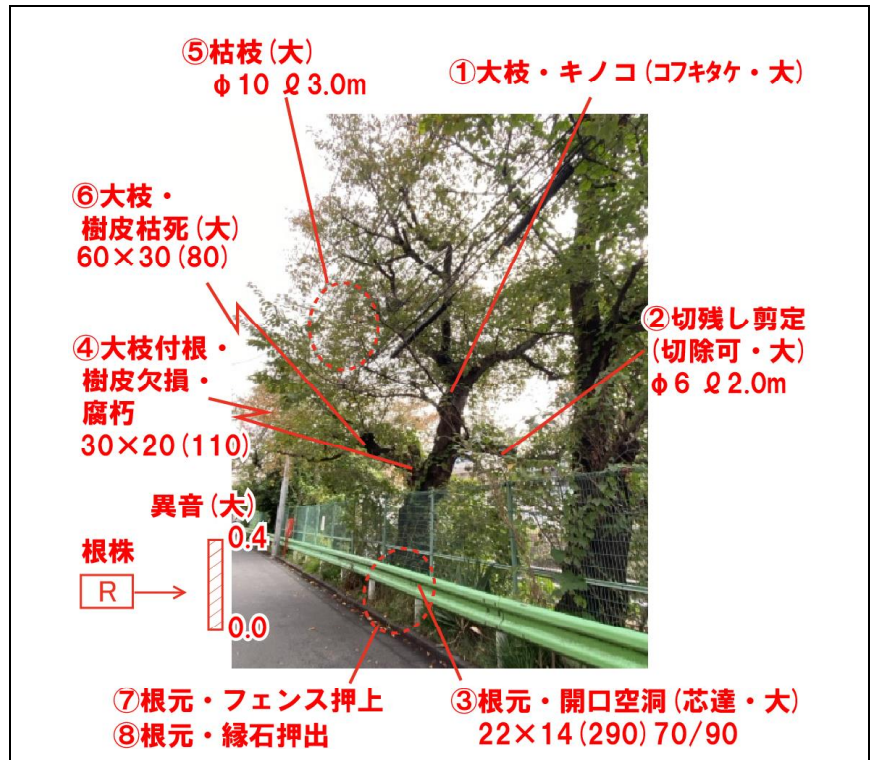
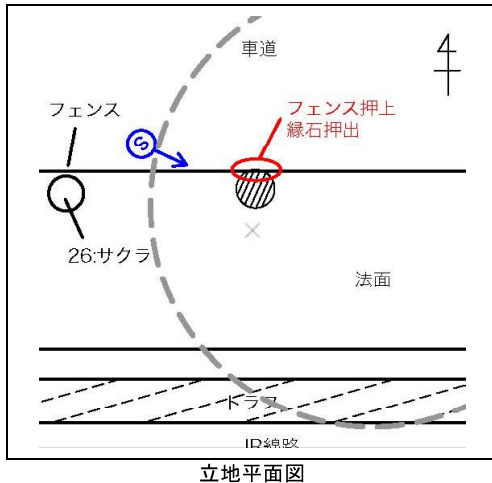
活 力 診 断	樹勢	枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等		良 ← ☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4 ☐ 5 → 不良						
	樹形	主幹・骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、枝の密度と配置等		☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5						
	所見	樹勢：樹冠部が衰退している。 樹形：概ね問題なし。								
	活力判定	☐ 健全か健全に近い ☒ 注意すべき被害が見られる ☐ 著しい被害が見られる ☐ 不健全								
	診断内容 \ 部位	根元		幹		骨格となる大枝				
	樹皮枯死・欠損・腐朽 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☐ なし ☐ 1/3 未満 ☒ 1/3 以上				
	芯に達していない開口空洞 (周囲長比率)	☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上				
	芯に達した開口空洞 (周囲長比率)	☐ なし ☒ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上		☒ なし ☐ 1/3 未満 ☐ 1/3 以上				
	上記3項目のうち 最大被害部の周囲長比率	被害部幅 14	被害部周囲長 290	=	周囲長比率 4.8%	被害部幅 /	被害部周囲長 =	周囲長比率 %	枯枝	☐ なし ☒ あり(φ10cm 23.0m)
	キノコ(子実体)	☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		☐ なし ☒ あり(コナギ)				
木槌打診(異常音)	☐ なし ☒ あり(G.L.0-0.2m 大)		☐ なし ☒ あり(G.L.0.2-0.4m 大)		☒ なし ☐ あり()					
分岐部・付根の異常	☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		☐ なし ☒ あり(樹皮欠損・腐朽)					
胴枯れなどの病害	☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()					
虫穴・虫フン、ヤニ	☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()		☒ なし ☐ あり()					
根元の揺らぎ	☒ なし ☐ あり()		建築限界越え 車道側		建築限界越え 歩道側					
鋼棒貫入異常	☒ なし ☐ あり()		幹 ☒ なし ☐ あり		幹 ☒ なし ☐ あり					
巻き根	☒ なし ☐ あり()		()		()					
ルートカラー	☒ 見える ☐ 見えない()		()		()					
露出根被害	☒ なし ☐ あり()		枝 ☒ なし ☐ あり		枝 ☒ なし ☐ あり					
不自然な傾斜	☒ なし ☐ あり()		()		()					
所見	大枝のキノコ(コナギ・大)あり。 切残し剪定(切除可・大)あり。同様の被害多数あり。 根元の開口空洞(芯達・大)あり。 大枝付根の樹皮欠損・腐朽あり。 枯枝(大)あり。 大枝の樹皮枯死(大)あり。 根元のフェンス押上あり。 根元の縁石押出あり。 木槌打診音異常(G.L.0-0.4m)あり。 要機器診断(根株)。									
部位判定	判定・処置 \ 部位	根元		幹		骨格となる大枝				
判定理由	健全か健全に近い	☐		☐		☐				
	注意すべき被害が見られる	☐		☐		☐				
	著しい被害が見られる	☒		☒		☒				
	不健全	☐		☐		☐				
処置	剪定が必要	☐		☐		☒				
	機器診断が必要	☒		☐		☐				
外観診断判定	☐ A：健全か健全に近い ☐ B1：注意すべき被害が見られる ☒ B2：著しい被害が見られる ☐ C：不健全									
判定理由	落下時の危険性が大きい枯枝あり。大枝にキノコ(コナギ・大)、樹皮枯死(大)あり。切残し剪定(切除可・大)あり。根元に開口空洞(芯達・大)あり。根元から幹にかけて木槌打診音異常(大)あり。									

機 器 診 断	測定データ 1	部位(根株)	腐朽空洞率： 49.7 %	t/R 率 ① 0.169	② 0.310	③ 0.374	④ 0.329
	測定データ 2	部位()	腐朽空洞率： %	t/R 率 ①	②	③	④
	所見	〈根株診断〉 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。特に①方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。					

総合判定	☐ A：健全か健全に近い ☐ B1：注意すべき被害が見られる ☐ B2：著しい被害が見られる ☒ C：不健全	
判定理由	機器診断の結果、根株に非常に大きな腐朽空洞が確認された。特に①方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。 現状で倒伏の危険性が高いため、伐採を検討する必要がある。残置する場合には風圧軽減のため概ね 1/2 程度まで樹高を低減し、定期的な診断により被害の進行を定期的に観察する必要がある。	

No. 11

処置内容	必要性	☐ なし ☒ あり	緊急性	☒ なし ☐ あり
	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期)			
	☐ 剪定(枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根)			
	☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			
摘	現状で倒伏の危険性が高いため、伐採を検討する必要がある。残置する場合には風圧軽減のため概ね 1/2 程度まで樹高を低減し、定期的な診断により被害の進行を定期的に観察する必要がある。			



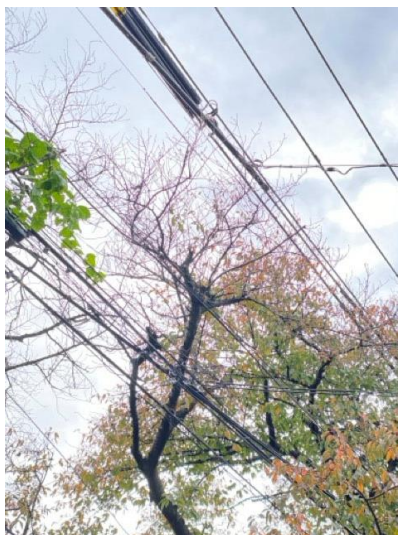
その他特記事項

次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断	
次回診断時期	☐ 1 年後 ☐ 2 年後 ☐ 3 年後 (年度)	
位置座標 (WGS84)	緯度 35.706304	経度 139.680895

樹木番号:25



④大枝付根の樹皮欠損・腐朽



⑤枯枝



⑥大枝の樹皮枯死



⑦根元のフェンス押上



⑧根元の縁石押出